

中学部 個別の学習の実践

～本校での個別の学習の実践より～

中学部の個別の学習の様子について紹介をします。本校では朝の身支度をした後、一人ひとりに付けたい力や伸ばしたい力を学習する時間として、30分間の個別の学習を行っています。曜日や時間で区切って、国語・数学・自立活動の学習を行っています。学習の一例を紹介します。

国語 ひらがなカード



国語では、一人ひとりの発達段階に合わせ学習を進めています。今回紹介するのは、登校後の日常生活の流れに合わせたひらがなの学習です。ひらがなカードと個人の持ち物の写真カードを使って、ひらがなと持ち物のマッチングをします。身近な物や自分の持ち物を文字で表すことを学び、日常生活の幅が広がるよう繰り返し学習を行います。

数学 お金の計算



作業製品販売会や生活単元学習の買い物学習では、金銭のやり取りができることを目指しています。身近な品物、金額を絵カードで準備し、1の位からスモールステップで数概念の学習を積み重ねていきます。「〇〇円です。」と、人と会話をする学習にも繋がっていきます。

自立活動 ボールペンの組立て



ボールペンをパーツごとに解体しケースの枠の中に整理して入れます。次に、組立ての順番に沿ってパーツを取り出し組立てていきます。組立てが終わったら具体物を数唱し、数字と数量をつなげる学習をします。集中力持続、正しい姿勢の保持、細部までよく見ること、つまむ・掴むなど両手を使う協応動作を繰り返し学習することで、生活動作を高め自立心も育くむことを目指します。